

## 週間展望

### 【1】東工品

所用で時間が無いので、簡潔に述べます。

#### 貴金属

**NY金**は、先週末は対ユーロ＝ドル高で反落したものの、下値ではEU圏の財務不安やシリア等の中近東の地政学的リスクの高まり及び新興国の公的機関の買いが期待されるため、下げ幅は限定的と予想します。

**東工金**は、先週は為替市況の変動に連れて不安定な商況だったものの底固い展開であり、今週は円高が一服していることやテクニカル要因(P指数)から当面の底値を確認する局面。大局的には先高気配が潜流していることから押し目買いで対処です。

**白金**は、自動車産業の立直りへの期待感に支援されて上値を試す局面、押し目買いで対処です。

#### 石油

**WTI原油**は、景気不透明感やサウジアラビアの増産観測で上値は抑えられているものの、下値もシリア等の地政学的リスクに支えられていることから、当面は100ドルを挟んで神経質な上下動が予想されます。

**東工石油3品**は、先週値位置を引上げて地合いは硬化したものの、WTI原油市況が不安定であり、上値が不透明なことから、買い主体ながらも逆張りで対処です。

#### ゴム

**東京ゴム**は、引続き値頃鍛錬の局面、ただテクニカル要因(P指数)が下値は浅いことと示唆しており、今週は押し目買いで対処です。

### 【2】農産物

#### コーン・大豆

**コーン**は、USDAの発表で期末在庫・生産予想共に下方修正され、シカゴ市場が過去最高値を更新する強気の展開、今後は天候プレミアムも支援要因、押し目買いで対処です。

**大豆**は、USDAの需給報告がやや弱気な内容だったことから、当面は軟調な商況、但しコーンに対する割安感から下値は浅いと見られることや、作付け時期特有の天候要因面からの支援が期待出来ることから押し目買いで対処です。

#### 小豆

**小豆**は、期近は中国産小豆の現物タイトを映して12000円台をキープしている一方、期先は際立った支援材料が無く軟調に推移している局面。ただテクニカル要因(P指数)や先行きの出世高を期待して押し目買いで対処です。

#### 粗糖

**ICE粗糖**は、需給の引締め感を感じて25セント台を回復したものの、更に上値を追うには新たな強材料が必要、むしろ利食い売りによる調整安が予想されます。

**東京粗糖**は、ICE粗糖は堅調に上昇したにもかかわらず、売買高が伸びず、上値を伸ばせないなど不透明な商況、ICE粗糖の調整安も懸念されることから、当面は売り主体の逆張りで対処です。